

木材ジャーナル名古屋・世ぶ

平成30年1月号 No.128

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合



二〇一八年
頌春

“いま、木に本気” くらしに活かそう木の良さを

年頭のごあいさつ



名古屋木材組合
組合長 西垣 洋一

2018年 新年の干支「戊戌(つちのえいぬ・ぼじゅつ)」に思う 果断を以って、陽気で維新・一新すべき年! 2020年からの大変革期に向けて備えの年に!!

新年を迎え謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は皆様には、組合の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

今、私たちの目の前には2020年からの大変革期という大きな時代のうねりが立ちはだかっています。国連では2030年までに持続可能な開発目標 (SDGs) の達成への取り組みを求めています。又日本ではSociety5.0の名の下、AI、IoTなどを活用し、イノベーションを起こす「超スマート社会」の実現が叫ばれています。

その入口である本年の干支は、「戊戌(つちのえいぬ・ぼじゅつ)」になり、安岡正篤先生の「干支の活学」によれば、戊は「つちのえ」。戊に同じ。前年に続き、陰陽煩雑する意とあります。又「戌」は干の「戌」と似ているが、中に陽気の「一」が蔵されており、枝葉末節を思い切って裁成すれば、陽気を生かし維新・一新が出来るかとあります。本年の干支「戊戌」は、陽気(一)を見定め、その上で大いに果断する。枝葉果実を刈ることが重要となります。

本年の木材需要の柱である新設住宅着工数は、2016年度の97万4千棟から2017年は概ね96万5千棟で微減、2018・19年は消費増税前の多少の駆け込み需要もあり微増と予測しています。しかしながら昨年秋口以降、木材を中心とした資材価格の高騰が続いており、今後は資材不足・職人不足の懸念とともに価格上昇が加速しかねない状況です。業界を挙げて価格改定(値戻し)を進めなければ未来はなく、業界全体が陳腐化してしまうのが実情です。又、「輸入材の価格は日本より世界の状況で左右され、お金を出さないと物が入ってこない時代になりつつある」との環境変化を踏まえ、林業再生を進め、現在、普及率が35%まで上昇している国産材と輸入材のバランスのとれた安定供給体制の構築が、業界に課せられた責務となります。

他方本年は、消費増税後、オリンピック・パラリンピック後の新設住宅着工数減少時代を見据え、干支の教えにあるように「陽気(一)」を見定め、次代の木材需要の柱となる基幹づくりに向け準備の年となります。新築分野では、非住宅分野の木造化・木質化への開拓・取り組み(木造設計)・PRを強化、既設住宅分野では、不動産関連企業とも連携しつつインスペクション(既存住宅現況検査)を実施、中古・空き家・リフォーム住宅市場の活性化を図り「安心R住宅」など新たなビジネスモデルの構築を進め、新築と既設住宅を両輪に業界の発展を図らなければなりません。

更に本年は「働き方改革」の実践の年となります。「働き方改革」は、長時間労働の是正とか、同一労働同一賃金で紙面をにぎわしていますが、私が思うに本来目指すのは企業の視点(経営の安定・持続的成長)から見て①生産性の向上 ②多様な人材活用(ダイバーシティ) ③リスク対応力強化(BCP:事業継続計画)と、個人(社員)の視点(生活の安定や充実・自己実現)から見て ④ワーク・ライフ・バランスの実現(仕事と生活の調和)の二つの視点です。「働き方改革」は、この企業と個人の2つの視点を持って、「主体的」、「能動的」に学ぶ「学び方改革」と両輪で推し進めることが大切だと思います。

最後になりますが、本年も皆様方のご尽力をお借りし、私自身も業界の発展の為、精一杯努力していく所存です。本年が皆様にとって素晴らしい一年になりますことを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のごあいさつ



名古屋港木材産業協同組合
理事長 嶺木 昌行

開港 50 周年

新年のお慶びを申し上げます。

昨年の総選挙で安倍政権が信任され、2020年の東京オリンピックも彼のもとで開催されることが濃厚になってまいりました。日本の技術・日本の文化・日本人の心が世界から更なる注目を浴びることを期待しておりますが、それと同時に、北朝鮮の核保有をはじめとした世界の不安定化に対し、安倍政権は憲法9条の改正に強い意欲を示しています。もちろん日本人の誰もが平和を願い、戦争は望んでいませんが、回り始めた小さな歯車が、やがて取り返しのつかない大きな歯車を回すことになるとも考えられるのです。本年は、日本国民全てが平和を享受した平成最後の年。次の時代がああ忌まわしい戦争時代に突入することがないように、私たち一人ひとりが慎重な、かつ責任ある行動を全世界と未来に向けてとらねばなりません。

現状の世界は自由主義・資本主義体制の崩壊期の真っ只中にあります。16世紀に始まった大航海主義・植民地主義は、18世紀以降イギリス・アメリカにおいて自由主義・民主主義として拡大発展し、戦後は資本主義経済として世界を牽引してまいりました。わが国を豊かにしたその資本主義も現在では、生産が消費を上回る、過去人類史にはあり得なかった、超物余り社会を築き上げてしまいました。しかもなお物余りの時代にあつて更に物の生産を続けようとする現代資本主義は矛盾だらけです。大企業は大量生産を続けざるを得ず、あのような各種の不正がまかり通る企業倫理を築き上げてしまいました。大企業の崩壊がそのまま資本主義の崩壊に繋がるものではありませんが、世界は大混乱をやがて迎えざるを得ないと感じずにはられません。

さて、こうした中において西部木材港は、本年には開港50周年を迎えます。今から50年前、西部木材港は東洋一の木材港として希望を持ってスタートしております。当時の資料を見ますと、今とは比べものにならない程多くの木材業者・合板業者に溢れ、前途洋々たる業界の姿が語られております。しかしながら、そうした希望も10年間程度。1980年代には日本経済の成長の鈍化と共に急速に衰退し、今は自動車とコンテナのターミナルを中心として、木材以外で夢を繋いでおります。

私たちは、先人たちが50年前に描いた夢とは別の夢を描き、それに向かって努力して行かなければなりません。西部港の新しい夢とは何でしょうか。私は、それは平和の創造だと思います。次の50年は否応なく不安定な、場合によっては戦争に繋がりがかねない時代に進んで行くと思われれます。そして過去の戦争はその殆どが経済的理由によるものです。物不足の時代ならともかく、物があふれた昨今の世にあつて、経済を戦争の理由にしてはなりません。その経済を實踐する企業は、平和創造にまい進することが強く求められていると思います。木を育てるということは、50年100年先を見据えることです。木を使うということ、木の循環を学ぶということです。そして、木を通じてあらゆる生命の尊さを再確認せねばなりません。木は命。木は地球です。「木を通じて平和を創造する」。それが私たちの次の時代の夢であり、使命ではないでしょうか。

お知らせ

☆☆☆ 名古屋港西部臨海地帯の一斉清掃が行われました ☆☆☆

平成29年11月17日（金）飛島地区、21日（火）弥富地区において愛知県トラック協会のメンバーを始め名古屋港管理組合職員や、同エリアの企業340社ほどに呼びかけて、秋期一斉清掃が行われました。回収されたごみは、次のとおりです。

飛島地区	可燃ゴミ	1,150kg	不燃ゴミ	620kg
	プラスチックゴミ	470kg	土砂	28.3㎡
弥富地区	可燃ゴミ	490kg	不燃ゴミ	300kg
	土砂	2.2㎡		

地区は、見違えるほどにきれいになりました。
参加された皆さん、お疲れ様でした。



集めたゴミを分別する愛知県トラック協会の皆さん

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

自動販売機ねらい被害が多発 !!

12月20日ころから12月25日にかけて、弥富市、飛島村地内において、自動販売機を破壊し、中から現金を盗む被害が3件発生しました！

【防犯上の注意点】

- ・ 防犯カメラ、センサーライトの設置等、目に見える防犯対策をしましょう！
- ・ 不審者発見の際は、すぐに110番通報してください！

◆ 広告コーナー

私たちのプレカットテクノロジーは、
人と住宅の未来のために
磨かれています。

Precut & Technology
MIYAGAWA®

宮川工機株式会社

本社 〒441-8019 愛知県豊橋市花田町字中ノ坪53
TEL.(0532)31-1251(代) FAX.(0532)34-1956

東京営業所(本事業所はISO9001:2000認証取得の組織ではありません)

〒135-0016 東京都江東区東陽5丁目15の6
TEL.(03)3647-2140(代) FAX.(03)3647-2184

●資料ご希望の方は、宮川工機(株)営業部まで



「プレカット」と「木工機械」の
平安コーポレーション

〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田1-5-2

発行 名古屋木材組合

発行者 西垣洋一

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 嶺木昌行

〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会